

## 団長の独り言

9月4日(日)「お昼も劇団ふぁんハウス」

今回の土日も、なかなか充実していた。まず土曜日、6年ほど前から演劇部の指導に伺っている中学校の顧問の先生から、「ミニ・公演」のご案内をいただいた。

演劇部の活動目標は、数百名もの全校生徒とその保護者の方が体育館に集まる「学習発表会」での公演と、11月に区が開催する連合学会大会出場というのがあり、演劇部は、その本公演に向けて日々稽古を行っているのだが、コロナ禍で「発表会」から遠ざかっていた。

しかし昨年からかな？自分達の成果をお披露目する場が復活してきて、今年は連合大会も行うとのこと、部員は減少する事なく、数十名の部員達がしっかりと活動を続けていの中で、「ミニ・公演」を行う事になったという。

ただミニ公演なので、観客は部員の保護者の方限定。

観客数自体はかなり少ないけれど、演劇は「人に見ていただいてなんぼ」。

「公演の本番」に向けての稽古とスキルアップのためと称したワークシヨップでは、緊張感も集中力もまるで違うから、観客を入れての「公演」を行うのは、素晴らしい事。

劇団メンバーと共に、かなり早めに学校に到着すると、まだ客入れ時間前だった

のだが、先生が会場となる体育館に案内して下さったので中へ入れば、リーダーのSさんが激を飛ばす中、ゲネプロと場当たりをミックスした最終確認作業が行われていた。(ゲネプロ：リハーサル。場当たり：音響・照明のチェック、役者の位置や当退場等の確認作業。)

開場時間が迫る中での最終確認作業なので全員真剣そのもの。

トラブルがある度に芝居が止まり、トラシーパー片手のリーダーが忙しそうに動き回っていて、ビリビリ感が体育館全体を支配していたので、皆さんの集中力が途切れないように我々は静かに客席に佇みながら、芝居を拝見していると、ゲネプロ&場当たりが全て終了。

時間を見れば、ひょえ〜！開演の1分前。客電(客席の電気)がつき、入口が明けられると、受付を終えてロビーに並ばれていた保護者の方が入場し、ある程度揃ったところで、ミニ公演は始まった。

正直、ゲネを覗いていた時は、「どうなる事やら・・・」と心配になる箇所満載だったのだが、凄いな〜！ゲネと違って、セリフは堂々としているは、照明、音響のミスもないわで語に引き込まれた。

こうしていい刺激をいただき、この日の夜、我々も熱の入った稽古を行った。

翌日曜日の13時より活動を開始する。集まったのは出演者全員と、受付スタッフとして4年前から劇団ふぁんハウスを支援して下さっている及川さんと大木田さん、

そして20数年前から、ずーっと台本の点訳等を行って下さり、劇団ふぁんハウス公演も全て一番前の席で御覧になられていて、私よりも劇団ふぁんハウス作品に詳しい堀野さんに、メンバーの美鶴さんも参加しての「公演のご案内」(ダイレクトメール)の発送作業を行う。

ダイレクトメール発送の時期かあ・・・なんて感慨に耽っている場合ではない。全員で手分けして、チラシやご案内状を折り込み、宛名ラベルを張り付け等、あれやこれやの作業を行う。

何せ数千通近くあるので、そりゃもう大変なんだけど、今回は出演者全員が来てくれた上に、「出来る」助っ人の方々も参加してくださっているので、仕事が早い！早い！人が集まらない時は、稽古時間に被ってしまう事もあるのに、今日は稽古開始の2時間ほど前には作業が終了した。

そこで折角なので、換気を万全に行う中で、ボランティアスタッフの方々と交えての座談会を開催。

公演で失敗談や公演裏話をボランティアスタッフさんに聞いていただきながら、和気あいあいの雰囲気の中、大爆笑の1時間半を過ごしたのだが、何度もこの作業に参加して下さっている堀野さんは、劇団メンバーの正体はよくご存じなんだけど、受付スタッフのお二人にしてみたら、「役の人物」として振舞っているメンバーしかご存じないので、メンバー達の「は

あ？」みたいな素顔に接して、その落差？にさぞ驚かれた事と思うので、そのあたりの事を伺ってみました。一番驚いたのは「平野恒雄」だったそうです。

ほら公演当日って、携わる全てのスタッフさんや関係者の方は総勢数百名ほどいらっしやって、私はその公演の総責任者として重責を担っているの、公演当日は一応ね、ちゃんとした姿なんだからけれど、今日の私は、どうやらそんな「姿」ではなかったらしく、賑やかで、おもしろい事ばかり言っていて、場を盛り上げているわりには作業にほとんど加わらず・・・そもそも役のイメージとも全然違うし、そんな私に驚かれたそう。(恥ずかしい)

それにしても飲み会のなくなった今、こうして出演者全員と楽しくコミュニケーションを取るなんて事も何年もなかったの、今日の雑談中心の座談会は、とっても良かった。

稽古中、雑談なんて当然出来ないの、今一みんながどんな人なのか？掴み切れないところもあったけれど、雑談を通じメンバー達とおしの距離もより近くなり、今日の夜の稽古では、いつも以上コミュニケーションのとれたノリノリの芝居となりました。かなり充実した稽古となったのでした。

ボランティアスタッフの皆様、本日はお忙しい中、本当にありがとうございます。こんな劇団ではありますが、末永くふぁんハウスをよろしくお願い致します。